令 和 7 年 1 月 31 日
ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議

令和６年度「公共施設の防犯・安全点検」実施結果

県では、毎年、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指して取り組む「ちゅらさん運動」の一環として、公共施設の防犯・安全点検を実施しています。

これは、施設の点検を実施して、必要な対策を行うことによって、

① 子どもたちが安全に安心して利用できる環境の確保に努めること。
② 公共施設の管理者をはじめ、県民の防犯意識の高揚及び犯罪の予防に資すること。

を目的に平成１８年度から行っている取組です。

今年度、本事業の趣旨にご理解をいただき、点検実施及び報告にご協力いただいたのは、県の施設の他、１５市町村及び１８市町村教育委員会、１０私立・国立学校となっております。

本年度の点検結果については、下記のとおりです。

記

１　点検実施期間

令和６年　７月１６日（火）～８月７日（水）

２　点検施設

（１） 点検施設総数 1,630　施設

（２） 対象施設ごとの点検施設数

道路（県道、市町村道のうち小学校、公園等に隣接する道路）	519 施設
公園（県管理、市町村管理の公園）	512 施設
建物（図書館、公民館、児童館など）	222 施設
学校（公立・国立・私立の幼稚園・小中高等学校）	377 施設

３　点検結果

（１） 要改善・改善予定箇所数

改善を必要とした箇所（要改善箇所数）	3,034 箇所
すでに改善を行った箇所（改善済箇所数）	592 箇所
今後改善を行う箇所数	2,442 箇所

（２）対象施設ごとの措置状況

（単位：箇所数）

対象施設	主な点検項目	要改善箇所数	改善済み	改善予定
道路	放置車両や不法工作物等の有無。占有物件による見通しの妨げがないか。	116	14	102
	植栽、樹木、雑草等で見通しがさえぎられていないか。	55	24	31
	街路灯などの明るさが低いまたは電球切れはないか。	82	14	68
	ゴミの散乱や落書き等が発生してないか。	20	14	6
	ガードレール、歩行者安全柵等が適正に管理されているか。	64	18	46
	防犯カメラ、非常通報装置等が設置されている場合、適正に管理されているか。	14	14	0
	住民等からの道路管理に関する通報・相談対応の体制は整備されているか。	17	0	17
	合　計	**368**	**98**	**270**
公園	植栽、樹木等が適正に管理されているか。見通しがさえぎられていないか。	168	40	128
	照明設備の明るさが低いまたは電球切れはないか。	266	28	238
	ゴミの散乱や落書き等がないか。園内のトイレ等は清潔に保たれているか。	65	31	34
	警備員の巡回や、防犯カメラ、非常通報装置等が設置されている場合は、管理が適切に行われているか。	24	1	23
	フェンス、柵などが壊れていないか、柵などが見通しを遮っていないか。	151	15	136
	門扉・ドア等の錠の破損、ガラスの破損はないか。	28	3	25
	遊具類の不具合や損壊、落書き等はないか。	379	26	353
	事件事故発生時の警察・消防への通報体制は整備されているか。	14	0	14
	合　計	**1,095**	**144**	**951**
建物	樹木、植栽、違法看板等で周囲から建物内の見通しが遮られていないか。	56	12	44
	照明設備の明るさが低いまたは電球切れはないか。	139	10	129
	ゴミの散乱や落書き等がないか。施設内のトイレ等は清潔に保たれているか。	8	5	3
	警備員の巡回や、防犯カメラ、非常通報装置等が設置されている場合は、管理が適切に行われているか。施錠の徹底等適切な管理体制が整っているか。	7	2	5
	フェンス、柵などが壊れていないか、柵などが見通しを遮っていないか。	61	4	57
	門扉・ドア等の錠の破損、ガラスの破損はないか。	79	16	63
	遊具類の不具合や損壊、落書き等はないか	20	4	16
	事件事故発生時の警察・消防への通報体制は整備されているか。	5	1	4
	合　計	**375**	**54**	**321**
学校	樹木、植栽、違法看板等で周囲から学校内の見通しがさえぎられていないか。	196	65	131
	照明設備の明るさが低いまたは電球切れはないか。	562	99	463
	ゴミの散乱や落書き等がないか。校内のトイレ等は清潔に保たれているか。	73	33	40
	警備員の巡回や、防犯カメラ、非常通報装置等が設置されている場合は、管理が適切に行われているか。施錠の徹底等適切な管理体制が整っているか。	50	14	36
	フェンス、柵などが壊れていないか、柵などが見通しを遮っていないか。	155	26	129
	門扉・ドア等の錠の破損、ガラスの破損はないか。	145	46	99
	事件事故発生時の警察・消防への通報体制は整備されているか。	15	13	2
	合　計	**1,196**	**296**	**900**
総合計（道路・公園・建物・学校）		**3,034**	**592**	**2,442**

４　犯罪が起きにくい環境づくりに向けた独自の取組について

犯罪が起きにくい環境づくりなどについて、各施設管理者等において次のような対策を講じています。（アンケートより抜粋）	
道路	○児童の通学路に係る交通安全に関する安全点検を実施し、交通安全対策を行っている。 ○定期的に道路パトロールを実施し、職員間で情報を共有し道路維持管理に努めている。
公園	○枝葉によって必要以上に視界が遮られないよう、枝打ちや剪定を実施している。また、地元の交番に依頼し、週に１回程度、巡回パトロールで立ち寄ってもらっている。 ○夜間警備や施設を管理している者が日常的に見回りをしている。また、昨年度改修した施設には、防犯カメラを設置している。 ○昨年より、キャンプ場としても運営することで閑散期を減らし、人の目を増やすことで防犯に努めている。 ○昼夜通しての職員による巡回と警備員による定期巡回警備により、不法投棄やたむろが減った。 ○屋外に設置している消火器箇所に防犯ブザーを取り付け、盗難防止対策等を実施している。 ○地域（公園所在区）に清掃や点検等の日常管理を委託し、不具合や問題があれば速やかに報告してもらう等、地域と連携した管理体制を取っている。
建物	○常駐警備員による館内巡回及び周辺の巡回を毎日行っており、不具合・不適切な状況が確認された場合には、指定管理者とも調整して速やかに対応するようにしている。 ○定期的に草刈りや樹木の伐採を行い、敷地内の環境整備に努めるとともに、防犯監視カメラや防犯灯の設置、門扉の開閉時間調整により、警備員とも連携しながら、侵入されにくい施設整備に努めている。 ○敷地内及び建物内の数カ所に、「防犯カメラ作動中」や「警備中」のステッカーを貼付している。 ○働いている職員・スタッフ同士はもちろんのこと、近隣住民や利用者との普段の関係性を大切にし、犯罪を未然に防ぐ地域づくりを行っている。

犯罪が起きにくい環境づくりなどについて、各施設管理者等において次のような対策を講じています。	
学校	○地域住民や保護者等と連絡をとりながら、朝の立哨や見守り活動を実施し、そこで得た情報をメールなどで共有している。 ○外部の人が学校に出入りする際は、必ず事務室を通り、名札を着用してもらっている。 ○児童に対し、地域行事への参加を促し、地域の方との関わりを持てるようにしている。 ○立哨ボランティアを募り、子供を見守る目としても協力していただいている。 ○校内研修の実施や、全職員で来校者には挨拶をするなど、防犯意識の高揚に努めている。 ○点検結果について、青少協や学校評議委員会などで防犯・安全対策の取り組みとして取り上げている。 ○職員間で情報共有した内容を、青少協主催の夜間街頭指導の情報交換会で、他校職員や保護者・地域の方・青少年指導員・青少年補導員と情報共有を行っている。 ○毎年、不審者の対応訓練を行っているほか、知らない人にはついて行かないなど「いかのおすし」の指導も定期的に行っている。 ○常に情報共有できるよう、職員・保護者・地域で連携を密に取り合っており、特に学校メールや学校のホームページで、情報提供や注意喚起の呼びかけを行っている。また、警察との連携体制も整えている。 ○定期的な不審者侵入対応訓練に加え、今年度から県警指令センターへ直接通報できるシステムを整備した。また、各保育室や園庭、正門ゲート等が映し出されるカメラを設置しており、防犯カメラとしての機能も果たせることから、各種防犯対策ツールを活用した取り組みを継続して行う。 ○不審者対策訓練を実施する際に、職員向けの講習会を実施することで防犯対策の方法を学び、防犯意識の向上を図った。

５　防犯に関する意見について

①施設管理における防犯上の課題や意見（アンケートより抜粋）	
道路	○防犯に対する予算確保がなかなか対応できない。 ○防犯カメラの設置を検討中である。
公園	○過去には夜間の常駐警備員を配置していたが、人件費の上昇等を踏まえ、夜間１回の巡回警備及び機械警備に移行した経緯がある。現時点で支障は生じていないが、適切な警備体制について検討を続けたい。 ○公園は24時間出入りが自由であることや、緑地として樹木があることで見通しの妨げになる可能性があるなど、防犯の取組と公園の機能確保の両立に難しさを感じる。 ○不特定多数の来場者に対して、不審者や不審物の発見・対応が課題である。
建物	○防犯監視カメラや警備員の配置など、不審者侵入の対策を行ってはいるが、敷地が広大であることから、対応に苦慮する面がある。 ○夜間等の職員配置が少ない時間帯の防犯対策をどうするのか、様々な事例を想定した訓練を行う必要がある。 ○当施設の特性上、老若男女問わず不特定多数の人の出入りがあるが、受付や常駐警備等、入館者をチェックする機能が備わっておらず、不審者等を判別することが困難であるため、有事の際の警察・消防等各所への迅速な通報が求められる。
学校	○地域で過去に起こった犯罪等の情報を共有することができると良い。 ○夜間の侵入者を防ぐための照明があるが、明かりを付けるとそこに集まってたむろする者がいるので、照明を付けるべきかどうか判断が難しい。 ○体育館の夜間開放のため、駐車場の施錠が難しい。駐車場側に近い児童玄関が職員室や事務室からは見えないため、防犯上課題である。 ○緊急事態発生時に、校内各教室・スペース、校長室、職員室、事務室相互間や、警察、消防への連絡等を迅速に行うための通報システムを各学校へ導入することが大切である。具体的には、普通教室や特別教室等へのインターホンや電話の設置、校内通報システムの整備等が挙げられる。 ○職員だけではなく、PTCA役員にも参加してもらい、合同で点検を実施するなどの工夫が必要だと感じた。 ○防犯という視点で点検することにより、改善すべき点が見えてきた。しかし、修繕等、予算確保にはなかなか厳しい面がある。

②防犯カメラに関する意見（アンケートより抜粋）	
道路	○防犯カメラの設置については、個人情報保護の観点からハードルが高いことがあるため、簡易なガイドラインなどがあれば助かる。
公園	○プライバシー保護を要する箇所以外では、積極的に設置すべきである。 ○屋外、特に駐車場、ビーチを見渡せる場所に防犯カメラがあると、安全面において非常に効果的だと思う。 ○近隣住民から、防犯上の観点より、公園内広場や駐車場への防犯カメラ設置の打診をされた。 ○防犯カメラ設置に係る費用の補助金制度等があれば、案内を行って欲しい。 ○防犯カメラは整備されているが、不具合があるので、早めの改善を行う必要がある。 ○落書きや不法投棄が多い場所にはカメラを設置したいが、プライバシーの問題や予算捻出に課題がある。
建物	○防犯対策として各施設にカメラを設置したいが、設置や管理費用などの面から難しいところがある。 ○現在設置されている防犯カメラについて、５～７年ごとに経年劣化による機器取替が必要となってくるが、適切な時期に予算措置ができるのかが課題である。 ○施設内に設置済みであり、防犯対策として一定程度の効果があると考えている。 ○敷地内全体を防犯カメラで監視することは困難であることから、防犯カメラの設置による犯罪抑止効果には限界がある。 ○防犯カメラ設置の必要性を感じている。ダミーでも良いので、設置できれば抑止力につながると思う。 ○犯罪抑制には効果が高いと思う。ただ、常に意識してカメラチェックをしている訳ではないので、不審な動きをする人を感知して知らせるなどの機能があればさらに良い。 ○県による補助金交付等により、積極的に市町村へ導入を促してもらいたい。

②防犯カメラに関する意見（アンケートより抜粋）	
学校	○防犯上、カメラを設置できると抑止力につながると考えている（校門、玄関、体育館入り口など）。 ○民間業者の協力を得ながら、児童登下校のメインとなる正門と裏門に防犯カメラを設置しているが、人が出入りできる通用門すべてにカメラを設置していきたい。 ○他人のプライバシーの問題はあるが、「カメラ設置」という表示をすれば、抑止力にはつながると思う。 ○できれば、正門周辺のみでなく複数箇所の設置が望ましいと思う。 ○ダミーの防犯カメラでも防犯のために役に立つと思う。 ○建物外に防犯カメラを設置することは、犯罪の早期発見だけでなく抑止にもつながることから、設置してほしい。 ○本校に設置はないが、維持管理の部分で課題が多い。 ○既設の防犯カメラとモニターが古くなり、使えない状態となっている。教育委員会とも連携しながら、改善を図っていく予定である。 ○防犯カメラの設置は校内に３カ所あるが、モニターが校内にないため、防犯カメラの用途をなしていない。 ○防犯カメラを設置したが、データの所有権や管理権などがあるのか、また、人権等の配慮など、活用や運用に関しての専門的な知識が必要と感じる。 ○防犯カメラが設置されているが、画素数が低く、画像が不鮮明である。

６　事業の効果

「公共施設防犯・安全点検」実施後のアンケートから、下記の効果が確認されました。

① 防犯の視点で点検を行ったことで、見逃していた危険箇所等を確認でき、必要な改善・対策が行われ、子ども達が安全に安心して利用できる環境の整備が進みました。

（アンケートより抜粋）

○点検の結果、フェンスに大小合わせて11箇所の切断された穴が見つかり、教育委員会に修繕依頼を行った。

○校内で修繕箇所を集約し、「自分たちで修繕できる箇所」、「教育委員会に修繕を依頼」、「ＰＴＡに協力依頼」に分類することで、スピード感を持って対応することができる。

○児童の避難経路でもある学校西側の傾きかけていた門扉を、修繕することができた。

○施設内の樹木等を伐採して死角や暗い場所をなくし、大幅に改善することができた。

○今回示された点検項目で防犯・安全点検を実施したことで、更に要改善場所が発見できた。そのことで整備を行うことができたので、有意義な取り組みとなったと感じた。

○校舎の構造上、地下の職員駐車場門から入ると、職員室や事務室を通らずに直接教室に侵入できてしまうため、常に用心が必要と再確認できた。また、この階段から児童が外に飛び出てしまう懸念もあり、今年度門扉が設置された事でかなり抑制されたと思う。

② 防犯・安全点検を実施して、施設の防犯上の課題や注意を要する点が明らかとなったことで、今後の防犯に配慮した施設管理に対する意識が向上しています。

（アンケートより抜粋）

○日常生活では見過ごされているような危険個所が見つかった。改めて、危険個所に焦点を当てて点検することは重要であると感じた。

○普段の点検では気づかなかった照明設備やフェンスの周辺等全体で確認することができてよかった。

○防犯・安全点検を行うことで、普段見逃してしまう箇所にも気づくことができるので、定期的な点検は重要だと思う。また点検するポイントを具体的に示すことで、より意識した点検が行えるので、活用していきたい。

○定期的に巡回する警備会社や、地域の青少年指導員・補導員と情報共有、連携を密にしていくことが必要だと感じた。

○子ども達のために、防犯・安全に対する意識を高めないといけないと改めて感じた。

○日常生活における事件・事故、災害や犯罪被害等の現状、原因及び防止方法について理解を深めることにより、適切な意思決定や行動選択ができるようになると考える。日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動について深めることに繋がった。

○不審者の侵入に関しては、学校という施設はその気になればどこからでも侵入出来てしまう。だからこそ、死角をなくし、容易に侵入できない環境づくりの大切さを感じた。また、門扉の管理や防犯カメラ、来校者の確認など全職員体制での危機管理能力を高める必要を感じた。

○不審者侵入や災害等において生徒の安全確保の面から考えると、予想もしない箇所での事故やケガ、また災害等における避難経路等、日頃からの確認と、職員の防犯意識及び危機回避の意識を高める必要があると感じる。職員の共通理解の徹底を図りたい。

③ 毎年、防犯・安全点検を実施することで、従来の点検や施設管理においても防犯の視点が定着してきており、持続的かつ効果的な防犯・安全対策に繋がっています。

（アンケートより抜粋）

○定期的な安全点検の実施により、去年より要改善箇所が減った。

○日常の安全点検に加え、全県的な取組として防犯の視点を取り入れた点検を行うことにより、これまでと違った見方で見回りをすることができた。

○前年度の点検表と比較することにより、改善された箇所が確認できて良かった。

○定期的に目視の点検を行っているが、安全点検期間が設定されていると、さらに意識して施設の点検を行うことができ、気づきも多々あって効果的であった。